

第102回常設審議委員会

【第1号議案】

件数 面積(平方メートル)

第4条	4	2135
第5条	14	2万4311
合計	18	2万6446

(農地区分別件数は、3種農地11件、2種農地5件、農用地区域内農地2件)

農業会議は9月20日、第102回常設審議委員会を大阪市内・JAバンク大阪信連事務センターで開いた。

第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件(高槻市、能勢町、和泉市、田尻町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、堺市、富田林市、枚方市農業委員会会長)18件(2万6446平方メートル)を許可やむを得ないと認め、回答することを議決した。

相続税等納税猶予制度を研修

交野市郡津地区勉強会

9月11日、交野市・郡津公民館において、郡津地区の農業者らによる勉強会が開かれ、20人が参加した。

当日は、交野市農業委員会の進行のもと同地区の農地利用・保全に向けた意見交換を実施。農業会議からは、沼田農政課副

主幹が出席し、相続税と贈与税及び農地として利用する上での納税猶予制度について研修した。猶予期限が確定した場合には、利子税とともに猶予税額を納付する必要があることの注意喚起と、地域に農地・農業を残すことを考える場合には、相続発生後遅滞なく適用の手続きを行う必要があるため、制度理解が重要であると説明した。

(沼田)

新団体会員代表者紹介

箕面市長に原田氏

8月25日、箕面市長選挙の投票が行われ、新たに原田亮氏が8月27日付けで箕面市長に就任した。

原田氏は就任日と同日付けで府農業会議の団体会員代表者に就任した。



理事就任挨拶

千早赤阪村 菊井 佳宏 村長 (大阪府町村長会 監事)



このたび、大阪府農業会議理事に就任することになりました千早赤阪村長の菊井佳宏でございます。

千早赤阪村は、先人たちの努力により守り続けてきた農

地が多くあり、歴史ある水稻栽培が引き継がれております。実りの季節になると、稲穂が黄金となり、輝かしい姿に姿を遂げます。

しかし、他市町と同様、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など解決すべき課題は山積しております。

未来に向け、大阪農業が飛躍するため、全力を尽くしてまいり所存でございますので、何卒ご指導ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

農業委員会活動をテーマに農大講義「大阪農業I」

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校で9月13日、農業委員会活動をテーマにした講義を行い、農業会議の、北川専務理事兼事務局長が講師を担当した。農委の基本的な性格や農地法などの法令事務、地域農業において農業委員会の委員が果たしている役割を中心に説明した。

(中島)

阪南市で農委研修

阪南市農業委員会(相良修一郎会長)は9月5日、農業委員会研修会を開催した。

農業会議からは、中島総務課長が出席し、最近の農業情勢と農業委員会組織の課題について報告。また、情報提供活動における全国農業新聞の普及推進について説明し、農委活動についての地域住民の理解醸成を図ることの重要性を挙げ、委員の皆購読と普及を呼び掛けた。

近年では特に、担い手への農地利用集積や遊休農地の発生防止・解消、新規就農者への支援を柱とする「農地利用の最適化推進」が期待されていることを紹介。現在、各市町村が進めている「地域計画」策定に協力している状況なども説明した。

今回の講義は令和6年度農大前期科目「大阪農業I」の一環として行われたもの。大阪の農業生産の現状や農産物流通、普及事業などを学ぶカリキュラムとなっている。

(北川)



農大生に農委の役割や農地制度を講義した